



創刊 天野元会長

発行責任者

湘南高等学校 湘友会

堀田 曉子

藤沢市鶴沼神5-6-10

電話 0466 (26) 4151

印刷所

藤沢印刷株式会社

0466 (26) 3135

70年史上初めての改革 活性化めざし改善検討委 組織・情報・財務の三部会

全通連の三課長会合の増大、会員年齢の若年層の増大に加え、物価高騰に伴う財政赤字の山積み、山崎会長の引退、湘友会の活性化をめざして、改善検討委員会設置の要請があった。会合では、改善検討委員会の組織、事務、参加の準備を進めた。

役員会を経て検討委員会が発足



5年12月12日午後2時から、湘友会本部として役員会を開き、改善検討委員会設置の案を承認。その他、改善検討委員会の組織、事務、参加の準備を進めた。改善検討委員会の人は、若者の代表として、天野君、元会長、山崎君、金子君（佐内幹）ら、運営の中心人物が参加し、検討委員会を組織した。

第2回検討委員会 組織・情報・財務の三部会



6年1月22日午後2時から第2回検討委員会を開き、改善検討委員会の組織、事務、参加の準備を進めた。改善検討委員会の人は、若者の代表として、天野君、元会長、山崎君、金子君（佐内幹）ら、運営の中心人物が参加し、検討委員会を組織した。

6年度役員会 総会の日程(10月2日)会場を決定

6年5月14日(土)午後、フジテレビ会場で役員会が開かれ、検討委員会代表も参加した。検討委員会代表の報告もあつた。役員会では、総会の日程(10月2日)と会場(湘南高等学校)が決定した。検討委員会代表の報告もあつた。役員会では、総会の日程(10月2日)と会場(湘南高等学校)が決定した。

藤沢支部夏のつどい
大沢孝征弁護士(39回)の講演
5年8月21日藤沢市民会館で支部のつどいは、あつた。大沢孝征弁護士(39回)の講演があつた。大沢孝征弁護士(39回)の講演があつた。

講演 仙田 満君(35回)
子供の遊び環境の変化と日本の将来
東京工業大学建築科教授の仙田君(35回)の講演があつた。仙田君(35回)の講演があつた。仙田君(35回)の講演があつた。



湘友会の活性化を
湘友会長 杉山 巖
先ず、湘友会の活性化を、湘友会長 杉山 巖が訴えた。湘友会長 杉山 巖が訴えた。湘友会長 杉山 巖が訴えた。

一湘会(5年10月17日) 集合写真が撮れなかった

湘友会総会のご案内

10月2日(日) 午前11時(藤沢市民会館)
会費 2,000円(当日会場で)



湘七会(6年6月25日) 来年は秋に

講演 山内 静夫 君(18回)
わたしの映画人生
小津安二郎監督の思い出
講演紹介
鎌倉ケーブルテレビ社長、元松竹の映画プロデューサー、尊敬する小津安二郎監督に仕えた。故里見尊氏(作家)の子息。おさよい合わせの上、多数お出かけください。

復活の鎌倉支部総会 150名と来賓10名の盛会

10年間にわたって中断していた鎌倉支部総会が、6年9月10日(日)午後、鎌倉市鶴沼神5-6-10で開かれ、150名と来賓10名の盛会であった。総会では、支部の活性化を、湘友会長 杉山 巖が訴えた。湘友会長 杉山 巖が訴えた。湘友会長 杉山 巖が訴えた。

役員・規約

役員・規約
役員会では、総会の日程(10月2日)と会場(湘南高等学校)が決定した。検討委員会代表の報告もあつた。役員会では、総会の日程(10月2日)と会場(湘南高等学校)が決定した。



若き日の記録 13回生クラス会誌(第2号)

昭和8年から13年の5年間の記録資料が丹念に集録されている。



5年度 横浜湘友会 新会長に星野正宏君(27回)

平成6年度第1回湘友会(5年21日)金(6月7日)コパス(N Tアール・ペンタ)で、62名の参加で開かれ、星野正宏君(27回)の講演があつた。星野正宏君(27回)の講演があつた。星野正宏君(27回)の講演があつた。



タカラジェンヌ誕生(山下淳子君67回)

い地位を目ざしての精進を期待したい。



女流王将(斎田晴子君60回)

今話題にのぼっている林葉四子五段、それに中井五段、清水四段には91年から3度挑戦して敗退していた斎田三段(60回)が、5月31日終に王将位獲得。小学校5年生でこの道に入るという出発の遅れをはねかえして栄冠を獲得した。更に輝かし盛り上がった。

全国(205校)の激戦地で、準決勝まで進出した野球部の健闘に、生徒・職員・OB会・湘友会・父兄が灼熱の横浜球場につめかけ応援に声をからし、汗を流して、久しぶりの湘南の存在を確かめ合い、歓びにひたった。

成績。1回戦。対吉田島2-13(5回コールド)。2回戦。対関東学院3-13(7回コールド)。3回戦。対神奈川工0-12(7回コールド)。4回戦。対霧ヶ丘1-7。準決勝。対立花学園3-17。準準決勝。対武相1-4。準決勝。対日大藤沢6-1。監督の矢島先生の指導を守り、もてるものを出し切り、成田・藤井投手のふんばり、20余の盗塁。好守、好打、好走ぶりを、田中OB会長は「試合を重ねながら強くなって行った」とほめていた。

グラウンドがないという悪条件を克服しての久しぶりの快挙に、田中OB会長ら役員が、8月7日(日)午後、魚万会館で、選手を招いて慰労した。3位の賞状、準準優勝旗、カップを飾り、会長のあいさつ、24年優勝時代の添田副部長があいさつして懇談に入った。金子・宮部先生、磯野主将・佐藤新主将等もあいさつ。賑やかな慰労会は歓びに

悪条件を克服して 野球部準決勝へ進出 OB会選手を慰労



宝塚音楽学校に進んだ山下淳子君(67回)が、80期生として目出度く卒業「波輝 晶(なみきあきら)」の芸名で、3月25日から宝塚大劇場花組公演にデビューした。

母校に「先生方お元気です。これからの一生懸命頑張ります。」と挨拶状を送って来た。

湘南紳士録(32) 大野和士(53回) ザグレブ交響楽団音楽監督



(左) 大野君 (右) 近藤君(38回)

荒間蒼海

棒をふりに生まれて来た男